２０２５年５月１日現在

真下　知子　（ましも　ともこ　：　MASHIMO Tomoko）

幼児教育学科

【職　　名】 准教授

【最終学歴】 大阪大学大学院　人間科学研究科人間科学専攻　博士後期課程修了

【学　　位】 博士（人間科学）

【専門分野】 教育工学、教育コミュニケーション学

【担当科目】 教育方法論、初年次セミナー、子どもと文化、情報リテラシー、コミュニケーション論、教育実習総論Ⅰ・Ⅱ、保育基礎ゼミナール、保育専門ゼミナール

【所属学会】 日本教育工学会、日本教育心理学会、日本心理学会、情報コミュニケーション学会

【研究課題】 ・大学生のコミュニケーション能力の向上を図る教育プログラムの開発
・ICT 活用による協同的な問題解決をめざした授業設計、実施、評価に関する研究

【主な教育研究及び社会的活動】

（1）**著書**：

・保育者のためのコミュニケーションワークブック、共著、ナカニシヤ出版（2018.4）

・改訂　未来に生きる教育学－変動期の教育の構築－、共著、あいり出版（2018.10）

（2）**論文**：

・女子大学生間のアドバイス場面における行動義務と心理的負担感の差異、筆頭著者、日本教育工学会論文誌第 38 巻、pp.85-88（2014.12）

・演習を通して保育での教育的コミュニケーション機能を学ぶ教育方法論の取り組み－絵本の読み聞かせ場面を例に－、筆頭著者、京都文教短期大学研究紀要第 55 集、pp.33-38（2017.3）

・視点取得への介入教示が他者の言動認知とアドバイス産出に及ぼす影響、筆頭著者、大阪大学教育学年報、第 23 号、pp.17-28（2018.3）

・アドバイス表現が受け手の認知・感情・行動改善意欲に及ぼす影響、筆頭著者、情報コミュニケーション学会誌、第 14 号、pp.18-29（2018.12）

・アドバイス表現が受け手に及ぼす影響に関する研究の動向と課題、筆頭著者、大阪大学大学院人間科学研究科紀要、第 45 号、pp.53-66（2019.2）

・子どもの言動理由の多面的な推測を支援する教材の開発、筆頭著者、京都文教短期大学研究紀要、第 59 集、pp.59-65（2021.3）

・Creativity training for multifaceted inferences of reason behind others’ behaviors, 共著, Thinking Skills and Creativity, 39, 100757 (2021)

・幼稚園教育実習指導における指導案作成に向けたチェックシートの開発と活用、筆頭著者、京都文教短期大学研究紀要第 60 集、pp.87-94（2022.3）

・実習事前学習としてのオンライン交流を通した学生の学び、筆頭著者、京都文教短期大学研究紀要第 62 集、pp.59-65（2024.3）

・幼稚園教育実習指導における遠隔交流の活用に関する検討、筆頭著者、京都文教短期大学研究紀要第 63 集、pp.23-30（2025.3）

（3）**学会発表**：

・幼稚園教育実習指導における遠隔交流の活用に関する検討、共同、日本教育工学会春季全国大会、熊本県（2024.3）